

## ■人間科学部 人間科学科 心理・社会福祉専攻

### ○中学校教諭一種免許状（社会）

#### ・目指す教員像

#### 【教職に対する使命感】

- ・人として、女性としての生き方を通して、自他を尊重できる教員
- ・仏教の教えや幅広い教養を通じた人間理解の上に、人と関わることができる教員
- ・教職員や保護者、地域など周囲と連携・協働して、生徒の育成にあたる教員

#### 【確かな学力と実践的指導力】

- ・教育の理念を踏まえ、生徒の学びを豊かにする教員
- ・社会の成り立ちを地理的・歴史的に理解した教員
- ・現代社会で起こる政治・経済上の諸問題を認識した教員
- ・社会の中で生きる人間の心を理解し、人間が支え合って生きる仕組みや方法について主体的に考えることのできる教員
- ・生徒に、人々の心、人間関係、社会の在り方について関心を持たせることができる教員
- ・中学校学習指導要領の内容を理解し、教科の特質に応じた学習過程の構築ができる教員
- ・現代の多様な課題に対応できる幅広い教養と社会性を備えた実践的力量的な教員
- ・思春期の発達課題を理解し、個に応じた指導・支援ができる教員
- ・アクティブ・ラーニングやICTを効果的に活用できる教員
- ・中学校教師としての教職への情熱と社会人としての責任感を有し、行動する教員
- ・教育的愛情を持って生徒と関わり、成長を支える教員
- ・生涯にわたって自己を研鑽し、学び続ける教員

#### 【豊かな人間性】

- ・人として、女性としての生き方を通して、自他を尊重できる教員
- ・仏教の教えや幅広い教養を通じた人間理解の上に、人と関わるすることができる教員
- ・教職員や保護者、地域など周囲と連携・協働して、生徒の育成にあたる教員

・ 教職課程カリキュラム (2023 年度入学生)

「教科及び教科の指導法に関する科目」									
施行規則に定める科目	履修科目		単位	備考	施行規則に定める科目	履修科目		単位	備考
日本史・外国史	日本史	必	2		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	社会科教育法Ⅰ	必	2	
	世界史	必	2			社会科教育法Ⅱ	必	2	
地理学（地誌を含む。）	自然地理学	必	2	社会科・公民科教育法Ⅰ		必	2		
	人文地理学	必	2	社会科・公民科教育法Ⅱ		必	2		
	地誌学	必	2						
「法学、政治学」	法学（国際法を含む）	必	2						
	政治学概論（国際政治学を含む）	必	2						
「社会学、経済学」	社会学概論Ⅰ	必	2						
	社会学概論Ⅱ	必	2						
	家族社会学	必	2						
	地域社会学	必	2						
	経済学概論（国際経済学を含む）	必	2						
「哲学、倫理学、宗教学」	哲学	必	1						
	倫理	必	1						
	仏教と人間Ⅰ	必	2						
	仏教と人間Ⅱ	必	2						
「教科及び教科の指導法に関する科目」の本学最低修得単位数：38 単位（教育職員免許法上の最低修得単位数：28 単位）									

「教育の基礎的理解に関する科目等」							
教育職員免許法施行規則に定める科目名等			履修科目		単位	備考	
科目名	科目に含めることが必要な事項		単位				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		10	中等教育原理	必	2	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）を含む
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			教職入門	必	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			教育経営論	必	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理	必	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育論	必	2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			教育課程論	必	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法		10	道徳教育指導論	必	2	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
	総合的な学習の時間の指導法			特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2	
	特別活動の指導法			教育方法論（ICT の活用含む）	必	2	
	教育の方法及び技術			生徒・進路指導	必	2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			学校教育相談	必	2	
	生徒指導の理論及び方法						
教育実践に関する科目	教育実習		5	中等教育実習指導	必	1	
				教育実習Ⅰ	必	4	
				教育実習Ⅱ	選	2	
	教育実践演習	2		2	教職実践演習（中・高）	必	
「教育の基礎的理解に関する科目等」の本学最低修得単位数：29 単位（教育職員免許法上の最低修得単位数：27 単位）							

「大学が独自に設定する科目」				「施行規則第 66 条の 6 に定める科目」							
施行規則に定める科目	履修科目		単位	備考	施行規則に定める科目	履修科目		単位	備考		
大学が独自に設定する科目	4	人権教育	必	2	日本国憲法		日本国憲法	必	2		
		特別活動実習	必	1			ウエルネス・スポーツ論	必	1		
※該当科目及び「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の本学最低修得単位数を満たす事で、「大学が独自に設定する科目」の法定単位数は充足される。					2	体育	女性とウエルネス I	選	1	1 単位以上修得すること	
							2	女性とウエルネス II	選		1
							2	英語スキルズ I	選	1	2 単位以上修得すること
							2	英語スキルズ II	選	1	
							2	フランス語 I	選	1	
							2	フランス語 II	選	1	
							2	中国語 I	選	1	
							2	中国語 II	選	1	
							2	韓国語 I	選	1	
							2	韓国語 II	選	1	
			2	情報処理基礎演習	必	1					
			2	データサイエンス基礎演習	必	1					
「大学が独自に設定する科目」の本学最低修得単位数：3 単位				「施行規則第 66 条の 6 に定める科目」の本学最低修得単位数：8 単位							

「介護等の体験」(小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律による)					
介護等の体験 (障害者、高齢者に対する介護、介助、交流等の体験)	法定期間 7 日間	本学実施	社会福祉施設・特別支援学級	5 日間	2 年次に実施
			特別支援学校	2 日間	

## ・履修計画

○：必修 △：選択

履修年次	具体的な科目名称等					
	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	施行規則第 66 条の 6 に定める科目	その他の事項	
1 年次	前期	○日本史	○教職入門		△女性とウエルネス I	履修説明会 履修開始手続き
		○政治学概論 (国際政治学を含む)			△英語スキルズ I	
		○社会学概論 I			△フランス語 I	
		○哲学			△中国語 I	
		○仏教と人間 I			△韓国語 I	
					○情報処理基礎演習	
	後期	○世界史	○中等教育原理		△女性とウエルネス II	履修オリエンテーション
		○法学 (国際法を含む)	○教育心理		△英語スキルズ II	
		○社会学概論 II			△フランス語 II	
		○経済学概論 (国際経済学を含む)			△中国語 II	
		○倫理			△韓国語 II	
		○仏教と人間 II			○データサイエンス基礎演習	
2 年次	前期	○人文地理学	○教育経営論		○日本国憲法	履修継続手続き 介護等体験 (8月～3月 7日間) 履修オリエンテーション
		○地誌学	○特別支援教育論		○ウエルネス・スポーツ論	
		○家族社会学				
	後期	○自然地理学	○教育課程論	○人権教育		
		○地域社会学	○教育方法論 (ICT の活用含む)			
3 年次	前期	○社会科教育法 I	○特別活動及び総合的な学習の時間の指導法		履修継続手続き	
		○社会科・公民科教育法 I	○生徒・進路指導			

	後期	○社会科教育法Ⅱ	○道徳教育指導論	○特別活動実習	履修オリエンテーション
		○社会科・公民科教育法Ⅱ	○学校教育相談		
4年次	前期		○中等教育実習指導		履修継続手続き
			○教育実習Ⅰ		
	後期		○教職実践演習（中・高）		免許状授与申請

・ 教職課程カリキュラム (2022 年度入学生)

「教科及び教科の指導法に関する科目」									
施行規則に定める科目	履修科目		単位	備考	施行規則に定める科目	履修科目		単位	備考
日本史・外国史	日本史	必	2		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	社会科教育法Ⅰ	必	2	
	世界史	必	2			社会科教育法Ⅱ	必	2	
地理学（地誌を含む。）	人文地理学	必	2			社会科・公民科教育法Ⅰ	必	2	
	自然地理学	必	2			社会科・公民科教育法Ⅱ	必	2	
	地誌学	必	2						
「法学、政治学」	法学（国際法を含む）	必	2						
	政治学概論（国際政治学を含む）	必	2						
「社会学、経済学」	社会学概論Ⅰ	必	2						
	社会学概論Ⅱ	必	2						
	家族社会学	必	2						
	地域社会学	必	2						
	経済学概論（国際経済学を含む）	必	2						
「哲学、倫理学、宗教学」	哲学	必	2						
	倫理学	必	2						
	生命倫理	必	2						
	宗教学	必	2						
	仏教学Ⅰ	必	2						
	仏教学Ⅱ	必	2						

「教科及び教科の指導法に関する科目」の本学最低修得単位数：44 単位（教育職員免許法上の最低修得単位数：28 単位）

「教育の基礎的理解に関する科目等」							
教育職員免許法施行規則に定める科目名等			履修科目		単位	備考	
科目名	科目に含めることが必要な事項	単位					
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	中等教育原理	必	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職入門	必	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育経営論	必	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理	必	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	必	2		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	必	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育指導論	必	2		
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2		
	特別活動の指導法		教育方法論（ICTの活用含む）	必	2		
	教育の方法及び技術		生徒・進路指導	必	2		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		学校教育相談	必	2		
	生徒指導の理論及び方法						
教育実践に関する科目	教育実習	5	中等教育実習指導	必	1		
			教育実習Ⅰ	必	4		
			教育実習Ⅱ	選	2		
	教育実践演習	2	教職実践演習（中・高）	必	2		

「教育の基礎的理解に関する科目等」の本学最低修得単位数：29 単位（教育職員免許法上の最低修得単位数：27 単位）

「大学が独自に設定する科目」				「施行規則第 66 条の 6 に定める科目」					
施行規則に定める科目	履修科目		単位	備考	施行規則に定める科目	履修科目		単位	備考
大学が独自に設定する科目	4	人権教育	必	2	日本国憲法		日本国憲法	必	2
		特別活動実習	必	1	体育	2	ウエルネス・スポーツ論	必	2
※該当科目及び「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の本学最低修得単位数を満たす事で、「大学が独自に設定する科目」の法定単位数は充足される。				2	ウエルネス・スポーツ I	選	1	1 単位以上修得すること	
				2	ウエルネス・スポーツ II	選	1		
				2	英語 I	必	1		
				2	英語 II	必	1		
				2	情報処理基礎演習 I	必	1		
				2	情報処理基礎演習 II	必	1		
「大学が独自に設定する科目」の本学最低修得単位数：3 単位					「施行規則第 66 条の 6 に定める科目」の本学最低修得単位数：9 単位				

「介護等の体験」(小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律による)					
介護等の体験 (障害者、高齢者に対する介護、介助、交流等の体験)	法定期間 7 日間	本学実施	社会福祉施設 特別支援学校	5 日間 2 日間	2 年次に実施

## ・履修計画

○：必修 △：選択

履修年次	具体的な科目名称等					
	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	施行規則第 66 条の 6 に定める科目	その他の事項	
1 年次	前期	○哲学	○教職入門		○ウエルネス・スポーツ論	履修説明会 履修開始手続き
		○倫理学			△ウエルネス・スポーツ I	
		○宗教学			○英語 I	
		○仏教学 I			○情報処理基礎演習 I	
		○社会学概論 I				
		○政治学概論 (国際政治学を含む)				
	○日本史					
	後期	○生命倫理	○中等教育原理		△ウエルネス・スポーツ II	履修オリエンテーション
		○仏教学 II	○教育心理		○英語 II	
		○経済学概論 (国際経済学を含む)			○情報処理基礎演習 II	
		○社会学概論 II				
		○法律学 (国際法を含む)				
○世界史						
2 年次	前期	○人文地理学	○教育経営論		○日本国憲法	履修継続手続き 介護等体験 (8月～3月 7日間) 履修オリエンテーション
		○地誌学	○特別支援教育論			
		○家族社会学				
	後期	○自然地理学	○教育課程論	○人権教育		
		○地域社会学	○教育方法論 (ICT の活用含む)			
3 年次	前期	○社会科教育法 I	○特別活動及び総合的な学習の時間の指導法		履修継続手続き 履修オリエンテーション	
		○社会科・公民科教育法 I	○生徒・進路指導			
	後期	○社会科教育法 II	○道徳教育指導論	○特別活動実習		
		○社会科・公民科教育法 II	○学校教育相談			
4 年次	前期		○中等教育実習指導 ○教育実習 I		履修継続手続き	
	後期		○教職実践演習 (中・高)		免許状授与申請	

## ○高等学校教諭一種免許状（公民）

### ・目指す教員像

#### 【教職に対する使命感】

- ・ 高等学校教師としての教職への情熱と社会人としての責任感を有し、行動する教員
- ・ 教育的愛情を持って生徒と関わり、成長を支える教員
- ・ 生涯にわたって自己を研鑽し、学び続ける教員

#### 【確かな学力と実践的指導力】

- ・ 教育の理念を踏まえ、生徒の学びを豊かにする教員
- ・ 社会の仕組みを政治的・経済的諸側面から把握した教員
- ・ 人間社会で起こる様々な問題への深く広い認識を持った教員
- ・ 社会の中で生きる人間の心を理解し、自らの「公民」としての自覚を高めることで、人と人との「支え合い」に積極的に関わることのできる教員
- ・ 生徒に、広く社会に対する認識を深め、社会の構成員として自覚するよう促すことのできる教員
- ・ 高等学校学習指導要領の内容を理解し、教科の特質に応じた学習過程の構築ができる教員
- ・ 現代の多様な課題に対応できる幅広い教養と社会性を備えた実践的力量的な教員
- ・ 青年期の発達課題を理解し、個に応じた指導・支援ができる教員
- ・ アクティブ・ラーニングや ICT を効果的に活用できる教員

#### 【豊かな人間性】

- ・ 人として、女性としての生き方を通して、自他を尊重できる教員
- ・ 仏教の教えや幅広い教養を通じた人間理解の上に、人と関わりながら育つことができる教員
- ・ 教職員や保護者、地域など周囲と連携・協働して、生徒の育成にあたる教員

・教職課程カリキュラム (2023 年度入学生)

「教科及び教科の指導法に関する科目」									
施行規則に定める科目	履修科目		単位	備考	施行規則に定める科目	履修科目		単位	備考
「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	法学(国際法を含む)	必	2	6単位以上修得すること	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	社会・集団・家族心理学(社会・集団心理学)	選	2	6単位以上修得すること
	政治学概論(国際政治学を含む)	必	2			コミュニティ心理学	選	2	
「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	社会学概論Ⅰ	必	2			教育・学校心理学(学校心理学)	選	2	
	社会学概論Ⅱ	必	2			社会・集団・家族心理学(家族心理学)	選	2	
	家族社会学	必	2			女性心理学	選	2	
	地域社会学	必	2			学習・言語心理学	選	2	
	経済学概論(国際経済を含む)	必	2		各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	社会科・公民科教育法Ⅰ	必	2	
哲学	必	1	社会科・公民科教育法Ⅱ			必	2		
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	倫理	必	1		8単位以上修得すること				
	仏教と人間Ⅰ	必	2						
	仏教と人間Ⅱ	必	2						
	心理学概論	必	2						
	社会集団家族(社会・集団心理学)	選	2						
	教育・学校心理学	選	2						
	社会・集団・家族心理学(家族心理学)	選	2						
	学習・言語心理学	選	2						
	教育心理学概論	選	2						
	知覚・認知心理学	選	2						
	障害者・障害児心理学	選	2						
	感情・人格心理学	選	2						
「教科及び教科の指導法に関する科目」の本学最低修得単位数 : 34 単位 (教育職員免許法上の最低修得単位数 : 24 単位)									

「教育の基礎的理解に関する科目等」						
教育職員免許法施行規則に定める科目名等			履修科目		単位	備考
科目名	科目に含めることが必要な事項	単位				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	中等教育原理	必	2	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)を含む
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	必	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育経営論	必	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理	必	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	必	2	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	必	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	8	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
	特別活動の指導法					
	教育の方法及び技術		教育方法論(ICTの活用含む)	必	2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		生徒・進路指導	必	2	
教育実践に関する科目	生徒指導の理論及び方法	3	学校教育相談	必	2	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法					
	教育実践		中等教育実習指導	必	1	
教育実践に関する科目	教育実践	3	教育実習Ⅰ	選	4	
			教育実習Ⅱ	選	2	
	教育実践演習	2	教職実践演習(中・高)	必	2	
「教育の基礎的理解に関する科目等」の本学最低修得単位数 : 25 単位 (教育職員免許法上の最低修得単位数 : 23 単位)						



「大学が独自に設定する科目」				「施行規則第 66 条の 6 に定める科目」						
施行規則に定める科目	履修科目		単 位	備考	施行規則に定める科目	履修科目		単 位	備考	
大学が独自に設定する科目	4	人権教育	必	2	日本国憲法		日本国憲法	必	2	
		特別活動実習	必	1	体育	2	ウエルネス・スポーツ論	必	1	
※該当科目及び「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の本学最低修得単位数を満たす事で、「大学が独自に設定する科目」の法定単位数は充足される。							女性とウエルネスⅠ	選	1	1 単位以上修得すること
							女性とウエルネスⅡ	選	1	
							英語スキルズⅠ	選	1	2 単位以上修得すること
							英語スキルズⅡ	選	1	
							フランス語Ⅰ	選	1	
							フランス語Ⅱ	選	1	
							中国語Ⅰ	選	1	
							中国語Ⅱ	選	1	
							韓国語Ⅰ	選	1	
							韓国語Ⅱ	選	1	
			数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報処理基礎演習	必	1			
					データサイエンス基礎演習	必	1			
「大学が独自に設定する科目」の本学最低修得単位数：3 単位				「施行規則第 66 条の 6 に定める科目」の本学最低修得単位数：8 単位						

## ・履修計画

○：必修 △：選択

履修年次	具体的な科目名称等					
	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	施行規則第 66 条の 6 に定める科目	その他の事項	
1 年次	前期	○政治学概論（国際政治学を含む）	○教職入門		△女性とウエルネスⅠ	履修説明会 履修開始手続き
		○社会学概論Ⅰ			△英語スキルズⅠ	
		○哲学			△フランス語Ⅰ	
		○仏教と人間Ⅰ			△中国語Ⅰ	
		○心理学概論			△韓国語Ⅰ	
		△教育心理学概論			○情報処理基礎演習	
		△障害者・障害児心理学				
	△感情・人格心理学					
	後期	○法律学（国際法を含む）	○中等教育原理		△女性とウエルネスⅡ	履修オリエンテーション
		○社会学概論Ⅱ	○教育心理		△英語スキルズⅡ	
		○経済学概論（国際経済学を含む）			△フランス語Ⅱ	
		○倫理			△中国語Ⅱ	
○仏教と人間Ⅱ				△韓国語Ⅱ		
△知覚・認知心理学			○データサイエンス基礎演習			
2 年次	前期	○家族社会学	○教育経営論		○日本国憲法	履修継続手続き 介護等体験 (8月～3月 7日間)
		△教育・学校心理学			○ウエルネス・スポーツ論	
		△学習・言語心理学	○特別支援教育論			
	後期	○地域社会学	○教育課程論	○人権教育		
3 年次	前期	△社会・集団・家族心理学（家族心理学）	○特別活動及び総合的な学習の時間の指導法			履修継続手続き 履修オリエンテーション
		○社会科・公民科教育法Ⅰ	○生徒・進路指導			
	後期	△社会・集団・家族心理学（社会・集団心理学）	○学校教育相談	○特別活動実習		
	○社会科・公民科教育法Ⅱ					

4 年次	前期		○中等教育実習指導			履修継続手続き
			△教育実習 I			
			△教育実習 II			
	後期		○教職実践演習 (中・高)			免許状授与申請

・ 教職課程カリキュラム (2022 年度入学生)

「教科及び教科の指導法に関する科目」									
施行規則に定める科目	履修科目	単位	備考	施行規則に定める科目	履修科目	単位	備考		
「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	法学(国際法を含む)	必	2	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	社会・集団・家族心理学(社会・集団心理学)	選	2	6単位以上修得すること	
	政治学概論(国際政治学を含む)	必	2		コミュニティ心理学	選	2		
「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	社会学概論Ⅰ	必	2		教育・学校心理学(学校心理学)	選	2		6単位以上修得すること
	社会学概論Ⅱ	必	2		社会・集団・家族心理学(家族心理学)	選	2		
	家族社会学	必	2		女性心理学	選	2		
	地域社会学	必	2		学習・言語心理学	選	2		
	経済学概論(国際経済を含む)	必	2		各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	社会科・公民科教育法Ⅰ	必	2	
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学	必	2		社会科・公民科教育法Ⅱ	必	2		
	倫理学	必	2						
	生命倫理	必	2						
	宗教学	必	2						
	仏教学Ⅰ	必	2						
	仏教学Ⅱ	必	2						
	心理学概論Ⅰ	必	2						
	心理学概論Ⅱ	必	2						
「教科及び教科の指導法に関する科目」の本学最低修得単位数 : 40 単位 (教育職員免許法上の最低修得単位数 : 24 単位)									

「教育の基礎的理解に関する科目等」							
教育職員免許法施行規則に定める科目名等			履修科目	単位	備考		
科目名	科目に含めることが必要な事項	単位					
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	中等教育原理	必	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	必	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育経営論	必	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理	必	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	必	2		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	必	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	8	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2		
	特別活動の指導法		教育方法論(ICTの活用含む)	必	2		
	教育の方法及び技術		生徒・進路指導	必	2		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		学校教育相談	必	2		
教育実践に関する科目	生徒指導の理論及び方法	3	中等教育実習指導	必	1		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		教育実習Ⅰ	選	4		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		教育実習Ⅱ	選	2		
	理論及び方法	2	教職実践演習(中・高)	必	2		
「教育の基礎的理解に関する科目等」の本学最低修得単位数 : 25 単位 (教育職員免許法上の最低修得単位数 : 23 単位)							

「大学が独自に設定する科目」				「施行規則第 66 条の 6 に定める科目」									
施行規則に定める科目		履修科目		単位	備考	施行規則に定める科目		履修科目		単位	備考		
大学が独自に設定する科目	12	人権教育	必	2		日本国憲法	2	日本国憲法	必	2			
		特別活動実習	必	1		ウエルネス・スポーツ論	必	2					
※該当科目及び「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の本学最低修得単位数を満たす事で、「大学が独自に設定する科目」の法定単位数は充足される。						体育	2	ウエルネス・スポーツ I	選	1	1 単位以上修得すること		
								ウエルネス・スポーツ II	選	1			
								外国語コミュニケーション	2	英語 I		必	1
						情報機器の操作	2	英語 II	必	1	情報処理基礎演習 I	必	1
								情報処理基礎演習 II	必	1			
						「大学が独自に設定する科目」の本学最低修得単位数：3 単位						「施行規則第 66 条の 6 に定める科目」の本学最低修得単位数：9 単位	

## ・履修計画

○：必修 △：選択

履修年次	具体的な科目名称等					
	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	施行規則第 66 条の 6 に定める科目	その他の事項	
1 年次	前期	○政治学概論（国際政治学を含む）	○教職入門		○ウエルネス・スポーツ論	履修説明会 履修開始手続き
		○社会学概論 I			△ウエルネス・スポーツ I	
		○哲学			○英語 I	
		○倫理学			○情報処理基礎演習 I	
		○宗教学				
		○仏教学 I				
		○心理学概論 I				
	○心理学概論 II					
	後期	○法律学（国際法を含む）	○中等教育原理		△ウエルネス・スポーツ II	履修オリエンテーション
		○社会学概論 II	○教育心理		○英語 II	
○経済学概論（国際経済学を含む）				○情報処理基礎演習 II		
○生命倫理						
○仏教学 II						
2 年次	前期	○家族社会学	○教育経営論		○日本国憲法	履修継続手続き 介護等体験 (8月～3月 7日間) 履修オリエンテーション
		△学習・言語心理学	○特別支援教育論			
	後期	○地域社会学	○教育課程論	○人権教育		
3 年次	前期	△女性心理学	○特別活動及び総合的な学習の時間の指導法			履修継続手続き 履修オリエンテーション
		△社会・集団・家族心理学（家族心理学）	○生徒・進路指導			
		○社会科・公民科教育法 I				
	後期	△社会・集団・家族心理学（社会・集団心理学）	○学校教育相談	○特別活動実習		
		△コミュニティ心理学				
		△教育・学校心理学（学校心理学）				
		○社会科・公民科教育法 II				
4 年次	前期		○中等教育実習指導		履修継続手続き	
			△教育実習 I			
	後期		△教育実習 II			免許状授与申請
	○教職実践演習（中・高）					

## ○高等学校教諭一種免許状（福祉）

### ・目指す教員像

#### 【教職に対する使命感】

- ・高等学校教師としての教職への情熱と社会人としての責任感を有し、行動する教員
- ・教育的愛情を持って生徒と関わり、成長を支える教員
- ・生涯にわたって自己を研鑽し、学び続ける教員

#### 【確かな学力と実践的指導力】

- ・教育の理念を踏まえ、生徒の学びを豊かにする教員
- ・福祉を取り巻く社会的状況や支援を必要とする人々について理解した教員
- ・社会福祉制度や施策について体系的に理解した教員
- ・ソーシャルワークの技術や方法を実践的に習得した教員
- ・実習・ボランティア活動などを通して、自助－互助－共助の生活保障の仕組みを伝えることのできる教員
- ・高等学校学習指導要領の内容を理解し、教科の特質に応じた学習過程の構築ができる教員
- ・現代の多様な課題に対応できる幅広い教養と社会性を備えた実践的力量的な教員
- ・青年期の発達課題を理解し、個に応じた指導・支援ができる教員
- ・アクティブ・ラーニングやICTを効果的に活用できる教員

#### 【豊かな人間性】

- ・人として、女性としての生き方を通して、自他を尊重できる教員
- ・仏教の教えや幅広い教養を通じた人間理解の上に、人と関わることのできる教員
- ・教職員や保護者、地域など周囲と連携・協働して、生徒の育成にあたる教員

・ 教職課程カリキュラム (2023 年度入学生)

「教科及び教科の指導法に関する科目」										
施行規則に定める科目	履修科目		単位	備考	施行規則に定める科目	履修科目		単位	備考	
社会福祉学(職業指導を含む。)	社会福祉原論Ⅰ	必	2		社会福祉総合実習(社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む)	ソーシャルワーク演習Ⅰ	必	2		
	社会福祉原論Ⅱ	必	2			ソーシャルワーク演習Ⅱ	必	2		
	社会保障論Ⅰ	必	2			ソーシャルワーク演習Ⅲ	必	2		
	社会保障論Ⅱ	選	2			ソーシャルワーク演習Ⅳ	必	2		
高齢者福祉・児童福祉・障害者福祉	高齢者福祉論	必	2			ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	必	1		
	児童・家庭福祉論Ⅰ	必	2			ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	必	1		
	児童・家庭福祉論Ⅱ	選	2			ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	必	1		
	障害者福祉論Ⅰ	必	2			ソーシャルワーク実習指導Ⅳ	必	1		
	障害者福祉論Ⅱ	選	2			ソーシャルワーク実習Ⅰ	必	1		
社会福祉援助技術	ソーシャルワーク総論Ⅰ	必	2			ソーシャルワーク実習Ⅱ	必	4		
	ソーシャルワーク総論Ⅱ	必	2			人体構造に関する理解・日常生活行動に関する理解	医学概論Ⅰ	必		2
	ソーシャルワークの方法Ⅰ	選	2				加齢に関する理解・障害に関する理解	医学概論Ⅱ		必
	ソーシャルワークの方法Ⅱ	選	2	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	福祉科教育法Ⅰ	必		2		
	ソーシャルワークの方法Ⅲ	選	2		福祉科教育法Ⅱ	必	2			
	ソーシャルワークの方法Ⅳ	選	2							
介護理論・介護技術	介護概論	必	2							
	介護技術演習	必	2							

「教科及び教科の指導法に関する科目」の本学最低修得単位数 : 45 単位 (教育職員免許法上の最低修得単位数 : 24 単位)

「教育の基礎的理解に関する科目等」						
教育職員免許法施行規則に定める科目名等			履修科目	単位	備考	
科目名	科目に含めることが必要な事項	単位				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	中等教育原理	必	2	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)を含む
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	必	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育経営論	必	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理	必	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	必	2	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	必	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	8	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
	特別活動の指導法		教育方法論(ICTの活用含む)	必	2	
	教育の方法及び技術		生徒・進路指導	必	2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		学校教育相談	必	2	
教育実践に関する科目	生徒指導の理論及び方法	3	中等教育実習指導	必	1	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育実習Ⅰ	選	4	
			教育実習Ⅱ	選	2	
	教育実践演習	2	教職実践演習(中・高)	必	2	

「教育の基礎的理解に関する科目等」の本学最低修得単位数 : 25 単位 (教育職員免許法上の最低修得単位数 : 23 単位)

「大学が独自に設定する科目」				「施行規則第 66 条の 6 に定める科目」						
施行規則に定める科目	履修科目		単位	備考	施行規則に定める科目	履修科目		単位	備考	
大学が独自に設定する科目	4	人権教育	必	2	日本国憲法		日本国憲法	必	2	
		特別活動実習	必	1	体育	2	ウエルネス・スポーツ論	必	1	
※該当科目及び「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の本学最低修得単位数を満たす事で、「大学が独自に設定する科目」の法定単位数は充足される。							女性とウエルネス I	選	1	1 単位以上修得すること
							女性とウエルネス II	選	1	
							英語スキルズ I	選	1	2 単位以上修得すること
							英語スキルズ II	選	1	
							フランス語 I	選	1	
							フランス語 II	選	1	
							中国語 I	選	1	
							中国語 II	選	1	
							韓国語 I	選	1	
							韓国語 II	選	1	
			外国語コミュニケーション	2		情報処理基礎演習	必	1		
			数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2		データサイエンス基礎演習	必	1		
「大学が独自に設定する科目」の本学最低修得単位数：3 単位				「施行規則第 66 条の 6 に定める科目」の本学最低修得単位数：8 単位						

## ・履修計画

○：必修 △：選択

履修年次	具体的な科目名称等					
	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	施行規則第 66 条の 6 に定める科目	その他の事項	
1 年次	前期	○社会福祉原論 I	○教職入門		△女性とウエルネス I	履修説明会 履修開始手続き
		○ソーシャルワーク総論 I			△英語スキルズ I	
		○医学概論 I			△フランス語 I	
	後期				△中国語 I	履修オリエンテーション
					△韓国語 I	
					○情報処理基礎演習	
	○社会福祉原論 II	○中等教育原理		△女性とウエルネス II	履修継続手続き	
	○ソーシャルワーク総論 II	○教育心理		△英語スキルズ II		
	○医学概論 II			△フランス語 II		
				△中国語 II		
				△韓国語 II		
2 年次	前期	○社会保障論 I	○教育経営論		○日本国憲法	履修継続手続き
		○高齢者福祉論	○特別支援教育論		○ウエルネス・スポーツ論	
		○児童・家庭福祉論 I				
		○障害者福祉論 I				
		△ソーシャルワークの方法 I				
	後期	○ソーシャルワーク演習 I				介護等体験 (8月～3月 7日間)
		△社会保障論 II	○教育課程論	○人権教育		
		△児童・家庭福祉論 II	○教育方法論 (ICT の活用含む)			
		△障害者福祉論 II				
		△ソーシャルワークの方法 II				
	○介護概論				履修オリエンテーション	
	○ソーシャルワーク演習 II					
	○ソーシャルワーク実習指導 I					
	○ソーシャルワーク実習 I					
3 年次	前期	△ソーシャルワークの方法 III	○特別活動及び総合的な学習の時間の指導法			履修継続手続き
		○介護技術演習	○生徒・進路指導			

		○ソーシャルワーク演習Ⅲ				履修オリエンテーション	
		○ソーシャルワーク実習指導Ⅱ					
		○ソーシャルワーク実習指導Ⅲ					
		○ソーシャルワーク実習Ⅱ					
		○福祉科教育法Ⅰ					
	後期	△ソーシャルワークの方法Ⅳ	○学校教育相談	○特別活動実習			
		○ソーシャルワーク演習Ⅳ					
		○ソーシャルワーク実習指導Ⅳ					
		○ソーシャルワーク実習Ⅱ					
		○福祉科教育法Ⅱ					
4年次	前期		○中等教育実習指導			履修継続手続き	
			△教育実習Ⅰ				
			△教育実習Ⅱ				
	後期		○教職実践演習（中・高）			免許状授与申請	



・教職課程カリキュラム (2022 年度入学生)

「教科及び教科の指導法に関する科目」							
施行規則に定める科目	履修科目	単位	備考	施行規則に定める科目	履修科目	単位	備考
社会福祉学(職業指導を含む。)	社会福祉原論Ⅰ	必	2	社会福祉総合実習(社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む)	ソーシャルワーク演習Ⅰ	必	2
	社会福祉原論Ⅱ	必	2		ソーシャルワーク演習Ⅱ	必	2
	社会保障論Ⅰ	必	2		ソーシャルワーク演習Ⅲ	必	2
	社会保障論Ⅱ	選	2		ソーシャルワーク演習Ⅳ	必	2
高齢者福祉・児童福祉・障害者福祉	高齢者福祉論	必	2		ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	必	1
	児童・家庭福祉論Ⅰ	必	2		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	必	1
	児童・家庭福祉論Ⅱ	選	2		ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	必	1
	障害者福祉論Ⅰ	必	2		ソーシャルワーク実習指導Ⅳ	必	1
	障害者福祉論Ⅱ	選	2		ソーシャルワーク実習	必	4
社会福祉援助技術	ソーシャルワーク総論Ⅰ	必	2		人体構造に関する理解・日常生活行動に関する理解	医学概論Ⅰ	必
	ソーシャルワーク総論Ⅱ	必	2	加齢に関する理解・障害に関する理解		医学概論Ⅱ	必
	ソーシャルワークの方法Ⅰ	選	2		各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	福祉科教育法Ⅰ	必
	ソーシャルワークの方法Ⅱ	選	2	福祉科教育法Ⅱ		必	2
	ソーシャルワークの方法Ⅲ	選	2				
	ソーシャルワークの方法Ⅳ	選	2				
介護理論・介護技術	介護概論	必	2				
	介護技術演習	必	2				

「教科及び教科の指導法に関する科目」の本学最低修得単位数 : 44 単位 (教育職員免許法上の最低修得単位数 : 24 単位)

「教育の基礎的理解に関する科目等」							
教育職員免許法施行規則に定める科目名等			履修科目	単位	備考		
科目名	科目に含めることが必要な事項	単位					
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	中等教育原理	必	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	必	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育経営論	必	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理	必	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	必	2		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	必	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	8	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2		
	特別活動の指導法		教育方法論(ICTの活用含む)	必	2		
	教育の方法及び技術		生徒・進路指導	必	2		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		学校教育相談	必	2		
教育実践に関する科目	生徒指導の理論及び方法	3	中等教育実習指導	必	1		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		教育実習Ⅰ	選	4		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		教育実習Ⅱ	選	2		
	理論及び方法	2	教職実践演習(中・高)	必	2		

「教育の基礎的理解に関する科目等」の本学最低修得単位数 : 25 単位 (教育職員免許法上の最低修得単位数 : 23 単位)

「大学が独自に設定する科目」				「施行規則第 66 条の 6 に定める科目」								
施行規則に定める科目		履修科目		単 位	備考	施行規則に定める科目		履修科目		単 位	備考	
大学が独自に設定する科目	12	人権教育	必	2		日本国憲法	2	日本国憲法	必	2		
		特別活動実習	必	1		体育	2	ウエルネス・スポーツ論	必	2		1 単位以上修得すること
※該当科目及び「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」の本学最低修得単位数を満たす事で、「大学が独自に設定する科目」の法定単位数は充足される。					2	ウエルネス・スポーツ I	選	1				
						2	ウエルネス・スポーツ II	選	1			
					2		英語 I	必	1	外国語コミュニケーション	英語 II	必
						2	情報処理基礎演習 I	必	1		情報機器の操作	情報処理基礎演習 II
「大学が独自に設定する科目」の本学最低修得単位数：3 単位					「施行規則第 66 条の 6 に定める科目」の本学最低修得単位数：9 単位							

## ・履修計画

○：必修 △：選択

履修年次	具 体 的 な 科 目 名 称 等					
	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	施行規則第 66 条の 6 に定める科目	その他の事項	
1 年次	前期	○社会福祉原論 I	○教職入門		○ウエルネス・スポーツ論	履修説明会
		○ソーシャルワーク総論 I			△ウエルネス・スポーツ I	
		○医学概論 I			○英語 I	履修開始手続き
	後期	○社会福祉原論 II	○中等教育原理		△ウエルネス・スポーツ II	履修オリエンテーション
		○ソーシャルワーク総論 II	○教育心理		○英語 II	
		○医学概論 II			○情報処理基礎演習 II	
2 年次	前期	○社会保障論 I	○教育経営論		○日本国憲法	履修継続手続き 介護等体験 (8月～3月 7日間) 履修オリエンテーション
		○高齢者福祉論	○特別支援教育論			
		○児童・家庭福祉論 I				
		○障害者福祉論 I				
		△ソーシャルワークの方法 I				
		○ソーシャルワーク演習 I				
	後期	△社会保障論 II	○教育課程論	○人権教育		
		△障害者福祉論 II	○教育方法論 (ICT の活用含む)			
		△児童・家庭福祉論 II				
		△ソーシャルワークの方法 II				
		○介護概論				
		○ソーシャルワーク演習 II ○ソーシャルワーク実習指導 I				
3 年次	前期	△ソーシャルワークの方法 III	○特別活動及び総合的な学習の時間の指導法			履修継続手続き 履修オリエンテーション
		○介護技術演習	○生徒・進路指導			
		○ソーシャルワーク演習 III				
		○ソーシャルワーク実習指導 II				
		○ソーシャルワーク実習指導 III				
		○ソーシャルワーク実習				
		○福祉科教育法 I				
	後期	△ソーシャルワークの方法 IV	○学校教育相談	○特別活動実習		
		○ソーシャルワーク演習 IV				
		○ソーシャルワーク実習指導 IV ○福祉科教育法 II				
4 年次	前期		○中等教育実習指導			履修継続手続き
			△教育実習 I			
			△教育実習 II			
	後期		○教職実践演習 (中・高)			免許状授与申請

## ○特別支援学校教諭一種免許状（知・肢・病）

### ・目指す教員像

#### 【教職に対する使命感】

- ・特別支援学校教師としての教職への情熱と社会人としての責任感を有し、行動する教員
- ・教育的愛情を持って生徒と関わり、成長を支える教員
- ・生涯にわたって自己を研鑽し、学び続ける教員

#### 【確かな学力と実践的指導力】

- ・教育の理念を踏まえ、子どもの学びを豊かにする教員
- ・特別支援教育についての専門的知識や指導技術を身に付けた教員
- ・特別支援学校学習指導要領の内容を理解し、特別支援教育における学習過程の構築ができる教員
- ・現代の多様な課題に対応できる幅広い教養と社会性を備えた実践的力量的な教員
- ・子どもの特性を十分に理解し、個に応じた支援ができる教員

#### 【豊かな人間性】

- ・人として、女性としての生き方を通して、自他を尊重できる教員
- ・仏教の教えや幅広い教養を通じた人間理解の上に、人と関わることのできる教員
- ・教職員や保護者、専門職など周囲と連携・協働して、子どもの育成にあたる教員

・教職課程カリキュラム (2022年度入学生)

「特別支援教育に関する科目」				
教育職員免許法施行規則に定める科目名等		履修科目	単 位	備 考
特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	特別支援教育総論	必 2	
特別支援教育領域に関する科目	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的障害がいの者の心理・生理・病理	必 2	
		コミュニケーション障がいの視点からみる知的障がいの者の心理・生理・病理	必 2	
		肢体不自由者の心理・生理・病理	必 2	
		病弱者の心理・生理・病理	必 2	
	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	知的障がいの教育	必 2	
		知的障がいの教育方法論	必 2	
		肢体不自由教育	必 2	
		病弱教育	必 2	
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	視覚障がいの者の心理・生理・病理と指導法	必 2	
		聴覚障がいの者の心理・生理・病理と指導法	必 2	
		重複障がい・LD等の心理・生理・病理と指導法	必 2	
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3	特別支援学校教育実習	必 3	・事前事後指導1単位を含む
「教職に関する科目」の本学最低修得単位数：27単位 (教育職員免許法上の最低修得単位数：26単位)				

・履修計画

【例：中一種（社会）を基礎免許とする場合】

○：必修 △：選択

履修年次	具体的な科目名称等					
	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	施行規則第66条の6に定める科目	特別支援教育に関する科目	
1年次	前期	○哲学	○教職入門		○ウエルネス・スポーツ論	
		○倫理学			△ウエルネス・スポーツⅠ	
		○宗教学			○英語Ⅰ	
		○仏教学Ⅰ			○情報処理基礎演習Ⅰ	
		○社会学概論Ⅰ				
		○政治学概論（国際政治学を含む）				
	○日本史					
	後期	○生命倫理	○中等教育原理		△ウエルネス・スポーツⅡ	○知的障害がいの者の心理・生理・病理
		○仏教学Ⅱ	○教育心理		○英語Ⅱ	
		○経済学概論（国際経済学を含む）			○情報処理基礎演習Ⅱ	
		○社会学概論Ⅱ				
		○法律学（国際法を含む）				
○世界史						
2年次	前期	○人文地理学	○教育経営論		○日本国憲法	○特別支援教育総論
		○地誌学	○特別支援教育論			○肢体不自由者の心理・生理・病理
		○家族社会学				○病弱者の心理・生理・病理
	後期	○自然地理学	○教育課程論	○人権教育		○知的障がいの者の教育
		○地域社会学	○教育方法論（ICTの活用含む）			○肢体不自由教育

						○病弱教育
3年次	前期	○社会科教育法Ⅰ	○特別活動及び総合的な学習の時間の指導法			○コミュニケーション障がい の視点からみる知的障がいの 心理・生理・病理
		○社会科・公民科教育法Ⅰ	○生徒・進路指導			○知的障がい者教育方法論
						○視覚障がい者の心理・ 生理・病理と指導法
	後期					○聴覚障がい者の心理・ 生理・病理と指導法
		○社会科教育法Ⅱ	○道徳教育指導論	○特別活動実習		○重複障がい・LD等の 心理・生理・病理と指導 法
	○社会科・公民科教育法Ⅱ	○学校教育相談				
4年次	前期		○中等教育実習指導			○特別支援学校教育実習
			○教育実習Ⅰ			
	後期		○教職実践演習（中・高）			